



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ

コード番号 7173 URL <https://www.tokyo-kiraboshifg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 壽信

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 木村 智勇 TEL 03-6447-5799

配当支払開始予定日 -

特定取引勘定設置の有無 無

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	117,016	13.8	30,512	12.8	20,777	11.4
2024年3月期第3四半期	102,819	14.3	27,044	33.0	18,644	37.1

(注) 包括利益2025年3月期第3四半期 6,862百万円(△64.2%) 2024年3月期第3四半期 19,188百万円(-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	682.84	478.92
2024年3月期第3四半期	612.81	444.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,733,321	366,650	5.4
2024年3月期	7,193,503	365,129	5.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 366,613百万円 2024年3月期 365,092百万円

(注) 自己資本とは、期末純資産の部合計から期末新株予約権及び期末非支配株主持分を控除した金額であり、「自己資本比率」は自己資本を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示（2006年金融庁告示第20号）に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	65.00	-	80.00	145.00
2025年3月期	-	75.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	75.00	150.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,100	△2.6	24,500	△4.4	798.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	30,650,115株	2024年3月期	30,650,115株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	419,935株	2024年3月期	394,867株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	30,187,391株	2024年3月期3Q	30,186,055株

(注) 当社は、株式交付信託を導入しており、当該信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(第1回第一種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 —	円 133.00	円 —	円 133.00	円 266.00
2025年3月期	—	140.00	—		
2025年3月期(予想)				140.00	280.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 1株当たりの払込金額 20,000円

3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

(1) 2024年3月期

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率 (※)

配当年率 = 日本円TIBOR + 1.1%

③ 日本円TIBOR

2023年3月31日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.23364%

④ 発行済株式数

750,000株

(2) 2025年3月期(予想)

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率 (※)

配当年率 = 日本円TIBOR + 1.1%

③ 日本円TIBOR

2024年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.29545%

④ 発行済株式数

750,000株

※ 配当年率は、%未満小数第3位まで算出し、その小数第3位を四捨五入

(第二種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 —	円 23.364	円 —	円 23.364	円 46.728
2025年3月期	—	29.545	—		
2025年3月期(予想)				29.545	59.090

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 1株当たりの払込金額 20,000円

3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

(1) 2024年3月期

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率

配当年率 = 日本円TIBOR + 0.0%

③ 日本円TIBOR

2023年3月31日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.23364%

④ 発行済株式数

2,000,000株

(2) 2025年3月期(予想)

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率

配当年率 = 日本円TIBOR + 0.0%

③ 日本円TIBOR

2024年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.29545%

④ 発行済株式数

2,000,000株

【添付資料の目次】

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況	2
（2）当四半期の財政状態の概況	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表	3～4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5～6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7～10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	10
(重要な後発事象)	10

3. 2025年3月期第3四半期決算説明資料

（1）損益の状況	11～13
（2）ROE	14
（3）OHR	15
（4）自己資本比率（国内基準）	16～17
（5）リスク管理債権及び金融再生法開示債権	18～19
（6）貸出金・預金残高等の状況	20～22
（7）時価のある有価証券の評価損益	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、連結業績の大宗を占めるきらぼし銀行の経常利益が301億円（前期比△10億円）、四半期純利益は209億円（同比△22億円）となりましたが、内部取引の消去など連結決算上の調整を行ったことにより、経常利益が305億円（前期比+34億円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は207億円（同比+21億円）となりました。

なお、きらぼし銀行の経営成績における主な増減要因（前期比）は、以下のとおりです。

- ① 貸出金利息※1 : メイン化取引の推進やお客さまとのリレーション強化の取組み等により、引き続き貸出金は増加、利回りも上昇し、前期比+30億円。
- ② 有価証券利息配当金 : 持分法適用関連会社からの配当金の受取が35億円減少した一方、国債アセットスワップや外債変動債の積み増し等により同比△22億円。
- ③ その他資金利益 : 金利上昇に伴う預金利息の増加（△23億円）等により同比△21億円。
- ④ 非金利収支※2 : 円債・外債のヘッジコスト及び外貨調達コストの増加や、法人役務収益が減少（△13億円）したこと等により同比△33億円。
- ⑤ 経費※3 : 事務委託費等物件費の増加等により同比+19億円。
- ⑥ 与信関係費用※3 : 企業業績回復による大口先のランクアップ等があった一方、貸倒実績率の低下幅縮小による貸倒引当金戻入の減少等により同比+13億円。
- ⑦ 債券・株式等関係損益 : 債券の売却損が増加した一方、REITの売却益や政策保有株式および純投資株式の売却益の増加等により同比+47億円

※1 貸出金利息には実質無利子・無担保融資等自治体から事後的に補給される利子補給金が含まれております。

※2 非金利収支は、コア業務粗利益を構成する計数のうち、資金利益を除いたものです。

（非金利収支＝信託報酬＋役務取引等利益＋その他業務利益（国債等債券損益を除く））

※3 上表では経費、与信関係費用の増加をプラス表記しております。

経営成績の概況の詳細につきましては、添付資料24ページ「東京きらぼしフィナンシャルグループ 2025年3月期第3四半期 決算概要」をご覧ください。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末比4,601億円減少し6兆7,333億円となり、純資産は前連結会計年度末比15億円増加し3,666億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、預金は前連結会計年度末比632億円増加し5兆8,935億円、貸出金は前連結会計年度末比943億円増加し4兆9,156億円、有価証券は前連結会計年度末比409億円減少し8,868億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月1日に公表いたしました2025年3月期の業績予想につきましては変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金預け金	1,157,591	645,058
コールローン及び買入手形	5,238	5,979
買入金銭債権	72,311	70,110
商品有価証券	1,061	1,294
金銭の信託	4,508	5,402
有価証券	927,806	886,866
貸出金	4,821,294	4,915,661
外国為替	4,857	4,943
リース債権及びリース投資資産	28,333	30,343
その他資産	77,650	64,105
有形固定資産	59,913	59,029
無形固定資産	17,636	16,447
退職給付に係る資産	34,693	37,063
繰延税金資産	1,940	8,238
支払承諾見返	5,526	7,600
貸倒引当金	△26,863	△24,824
資産の部合計	7,193,503	6,733,321
負債の部		
預金	5,830,294	5,893,541
譲渡性預金	71,000	188,000
コールマネー及び売渡手形	654,868	29,265
債券貸借取引受入担保金	155,252	139,942
借入金	53,936	52,138
外国為替	1,012	771
社債	5,848	4,776
信託勘定借	609	—
その他負債	46,202	48,509
賞与引当金	1,815	511
役員賞与引当金	176	—
株式報酬引当金	389	202
退職給付に係る負債	82	86
役員退職慰労引当金	118	111
ポイント引当金	95	108
睡眠預金払戻損失引当金	174	107
偶発損失引当金	885	881
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	83	116
支払承諾	5,526	7,600
負債の部合計	6,828,373	6,366,670

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
資本金	27,500	27,500
資本剰余金	150,974	151,023
利益剰余金	172,896	188,640
自己株式	△936	△1,294
株主資本合計	350,434	365,869
その他有価証券評価差額金	1,696	△12,635
繰延ヘッジ損益	△397	866
土地再評価差額金	△242	△242
為替換算調整勘定	40	44
退職給付に係る調整累計額	13,561	12,710
その他の包括利益累計額合計	14,658	743
新株予約権	9	9
非支配株主持分	27	27
純資産の部合計	365,129	366,650
負債及び純資産の部合計	7,193,503	6,733,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
経常収益	102,819	117,016
資金運用収益	62,486	67,406
(うち貸出金利息)	49,647	52,620
(うち有価証券利息配当金)	11,698	13,097
信託報酬	244	229
役務取引等収益	16,932	17,558
その他業務収益	1,273	3,139
その他経常収益	21,883	28,681
経常費用	75,775	86,503
資金調達費用	4,118	6,586
(うち預金利息)	2,125	4,127
役務取引等費用	2,853	2,932
その他業務費用	6,031	9,306
営業経費	46,210	48,537
その他経常費用	16,561	19,140
経常利益	27,044	30,512
特別利益	—	110
固定資産処分益	—	110
特別損失	68	104
固定資産処分損	68	104
税金等調整前四半期純利益	26,975	30,517
法人税等	8,355	9,740
四半期純利益	18,619	20,777
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,644	20,777

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	18,619	20,777
その他の包括利益	568	△13,914
その他有価証券評価差額金	1,068	△14,327
繰延ヘッジ損益	△373	1,263
為替換算調整勘定	4	4
退職給付に係る調整額	△151	△850
持分法適用会社に対する持分相当額	21	△4
四半期包括利益	19,188	6,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,213	6,863
非支配株主に係る四半期包括利益	△24	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の処理)

連結財務諸表作成における税金費用は、当社及び連結子会社の当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	84,739	9,987	94,726	8,516	103,242
セグメント間の内部経常収益	259	578	838	8,555	9,394
計	84,999	10,565	95,565	17,072	112,637
セグメント利益	26,870	327	27,198	4,626	31,825

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティングサービス、コンピュータ関連サービス、情報提供サービス業、クレジットカード業及び債権管理回収業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額

(単位:百万円)

経常収益	金額
報告セグメント計	95,565
「その他」の区分の経常収益	17,072
パーチェス法による調整	△422
セグメント間取引消去	△9,394
四半期連結損益計算書の経常収益	102,819

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	27,198
「その他」の区分の利益	4,626
パーチェス法による調整	△518
セグメント間取引消去	△4,262
四半期連結損益計算書の経常利益	27,044

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」において、当社の連結子会社であるきらぼしシステム株式会社が株式会社アイティーシーの株式を取得したことに伴いのれんが1,227百万円発生しております。なお、当該のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

「その他」において、当社の連結子会社であるきらぼし債権回収株式会社がアルゴジャパン債権回収株式会社からの事業譲受に伴いのれんが1,000百万円発生しております。なお、当該のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	94,637	10,563	105,200	12,278	117,479
セグメント間の内部経常収益	105	656	761	15,032	15,794
計	94,742	11,220	105,962	27,311	133,273
セグメント利益	29,392	316	29,708	11,021	40,730

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティングサービス、コンピュータ関連サービス、情報提供サービス業、クレジットカード業及び債権管理回収業等があります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額

(単位:百万円)

経常収益	金額
報告セグメント計	105,962
「その他」の区分の経常収益	27,311
パーチェス法による調整	△462
セグメント間取引消去	△15,794
四半期連結損益計算書の経常収益	117,016

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	29,708
「その他」の区分の利益	11,021
パーチェス法による調整	△558
セグメント間取引消去	△9,659
四半期連結損益計算書の経常利益	30,512

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	3,963百万円	5,329百万円
のれんの償却額	368百万円	375百万円

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 2025年3月期第3四半期決算説明資料

(1) 損益の状況

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ

【連結】

2025年3月期第3四半期の経常収益は、前期比14,196百万円増加の117,016百万円、経常利益は前期比3,467百万円増加の30,512百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期比2,132百万円増加の20,777百万円となりました。

(単位：百万円)

		2024年 12月期	2023年 12月期比	2023年 12月期
経常収益	1	117,016	14,196	102,819
業務粗利益	2	69,508	1,575	67,933
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	3	(73,187)	(1,211)	(71,975)
資金利益	4	60,819	2,451	58,368
信託報酬	5	229	△15	244
役務取引等利益	6	14,626	547	14,078
その他業務利益	7	△6,166	△1,408	△4,758
経費(除く臨時処理分)	8	49,487	3,177	46,310
与信関係費用	9	1,964	1,558	406
株式等関係損益	10	9,919	4,015	5,904
持分法による投資損益	11	6	1	5
その他	12	2,530	2,611	△81
経常利益	13	30,512	3,467	27,044
特別損益	14	5	74	△68
税金等調整前四半期純利益	15	30,517	3,542	26,975
法人税等	16	9,740	1,384	8,355
四半期純利益	17	20,777	2,157	18,619
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	18	△0	24	△24
親会社株主に帰属する四半期純利益	19	20,777	2,132	18,644

② きらぼし銀行
【単体】

2025年3月期第3四半期の単体業績は、メイン化取引の推進やお客さまとのリレーション強化の取組み等により貸出金利息が増加するも、持分法適用関連会社からの配当金の受取がなくなったことに加え、主に事務委託費等の物件費の増加や与信関係費用の増加等により、経常利益が前期比1,037百万円減少の30,174百万円、四半期純利益は前期比2,268百万円減少の20,996百万円となりました。

(単位：百万円)

		2024年 12月期	2023年 12月期比	2023年 12月期
経常収益	1	93,985	6,224	87,761
業務粗利益	2	62,872	△3,907	66,780
(除く国債等債券損益(5勘定戻))【コア業務粗利益】	3	(66,008)	(△4,739)	(70,748)
資金利益	4	60,108	△1,383	61,492
信託報酬	5	229	△15	244
役務取引等利益	6	8,558	△1,488	10,047
その他業務利益	7	△6,023	△1,019	△5,003
経費(除く臨時処理分)	8	41,185	1,979	39,206
人件費	9	16,321	△1,009	17,331
物件費	10	21,138	2,805	18,333
税金	11	3,725	183	3,541
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)【実質業務純益】	12	21,686	△5,886	27,573
(除く国債等債券損益(5勘定戻))【コア業務純益】	13	(24,822)	(△6,719)	(31,542)
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	(24,818)	(△5,632)	(30,450)
コア業務純益(除く特殊要因) ^(注)	15	(24,822)	(△3,204)	(28,027)
一般貸倒引当金繰入額 ①	16	△939	△939	—
業務純益	17	22,626	△4,947	27,573
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	18	(△3,135)	(832)	(△3,968)
臨時損益	19	7,547	3,909	3,638
不良債権処理額 ②	20	2,559	2,090	468
貸出金償却	21	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	22	2,128	2,128	—
債権売却損	23	—	4	△4
偶発損失引当金繰入額	24	△4	33	△37
信用保証協会責任共有制度負担金	25	419	△72	491
その他不良債権処理額	26	15	△4	19
貸倒引当金戻入益 ③	27	—	△172	172
償却債権取立益	28	11	△272	283
株式等関係損益	29	9,848	3,872	5,976
その他臨時損益	30	247	2,572	△2,324
経常利益	31	30,174	△1,037	31,212
経常利益(除く特殊要因) ^(注)	32	30,174	2,476	27,697
特別損益	33	△170	△102	△68
税引前四半期純利益	34	30,003	△1,140	31,143
法人税等	35	9,006	1,127	7,879
四半期純利益	36	20,996	△2,268	23,264
四半期純利益(除く特殊要因) ^(注)	37	20,996	1,246	19,749
与信関係費用 ①+②-③	38	1,620	1,323	296

(注) 持分法適用関連会社の子会社における不動産売却を原資とした当該関連会社からの配当金(当期該当なし、前年同期3,514百万円)を除いた場合の金額を表示しています。

【連結】

(単位：百万円)

		2024年 12月期	2023年 12月期比	2023年 12月期
経常収益	39	99,641	11,598	88,043
経常利益	40	30,826	2,641	28,184
親会社株主に帰属する四半期純利益	41	21,391	1,344	20,046

(2) ROE

東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：%)

	2024年	2023年	2023年 12月期
	12月期	12月期比	
親会社株主に帰属する四半期純利益ベース	7.53	0.14	7.39

(注) 分母となる自己資本平均残高は、(期首自己資本+期末自己資本) ÷ 2 で算出しております。

きらぼし銀行【単体】

(単位：%)

	2024年	2023年	2023年 12月期
	12月期	12月期比	
業務純益ベース (一般貸倒引当金繰入前)	8.25	△2.92	11.17
業務純益ベース	8.61	△2.56	11.17
コア業務純益ベース	9.44	△3.33	12.78
四半期純利益ベース	7.98	△1.43	9.42

(注) 分母となる自己資本平均残高は、(期首自己資本+期末自己資本) ÷ 2 で算出しております。

きらぼし銀行【単体】 (関連会社配当金を控除した場合)

(単位：%)

	2024年	2023年	2023年 12月期
	12月期	12月期比	
業務純益ベース (一般貸倒引当金繰入前)	8.25	△1.64	9.90
業務純益ベース	8.61	△1.29	9.90
コア業務純益ベース	9.44	△2.08	11.53
四半期純利益ベース	7.98	△0.13	8.12

(注) 1. 分母となる自己資本平均残高は、(期首自己資本+期末自己資本) ÷ 2 で算出しております。

2. 関連会社配当金は、2023年12月期は35億円を控除しております。2024年12月期は該当ありません。

きらぼし銀行【連結】

(単位：%)

	2024年	2023年	2023年 12月期
	12月期	12月期比	
業務純益ベース (一般貸倒引当金繰入前)	7.55	△1.61	9.17
業務純益ベース	7.89	△2.16	10.05
コア業務純益ベース	8.68	△2.04	10.72
親会社株主に帰属する四半期純利益ベース	7.71	△0.15	7.87

(注) 分母となる自己資本平均残高は、(期首自己資本+期末自己資本) ÷ 2 で算出しております。

(3) OHR

きらぼし銀行【単体】

(単位：%)

	2024年 12月期		2023年 12月期
	2023年 12月期比		
コア業務粗利益ベース	62.39	6.97	55.41
業務粗利益ベース	65.50	6.79	58.70

(注)
$$\text{OHR} = \frac{\text{経費}}{\text{業務粗利益}} \times 100$$

きらぼし銀行【単体】（関連会社配当金を控除した場合）

(単位：%)

	2024年 12月期		2023年 12月期
	2023年 12月期比		
コア業務粗利益ベース	62.39	4.08	58.31
業務粗利益ベース	65.50	3.53	61.97

(注) 1.
$$\text{OHR} = \frac{\text{経費}}{\text{業務粗利益}} \times 100$$

2. 関連会社配当金は、2023年12月期は35億円を控除しております。2024年12月期は該当ありません。

(4) 自己資本比率 (国内基準)

①東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：百万円、%)

	2024年 12月末	2024年 9月末比	2024年 9月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	8.58	0.08	8.50
(2) 自己資本	344,872	6,980	337,892
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	365,869	7,847	358,021
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	4,738	△475	5,213
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	—
(3) リスク・アセット等	4,015,309	43,070	3,972,239
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4%	160,612	1,722	158,889

②きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2024年 12月末	2024年 9月末比	2024年 9月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	8.83	0.09	8.74
(2) 自己資本	347,354	6,852	340,501
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	361,199	7,840	353,359
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	4,570	△476	5,047
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額等	—	—	—
(3) リスク・アセット等	3,930,209	34,313	3,895,895
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4%	157,208	1,372	155,835

③きらぼし銀行【連結】

(単位：百万円、%)

	2024年 12月末	2024年 9月末比	2024年 9月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	8.91	0.10	8.80
(2) 自己資本	351,200	7,046	344,153
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	366,871	7,974	358,897
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	4,664	△479	5,143
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	—
(3) リスク・アセット等	3,939,416	32,492	3,906,923
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4%	157,576	1,299	156,276

④UI銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2024年 12月末	2024年 9月末比	
		2024年 9月末	2024年 9月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	7.65	1.37	6.27
(2) 自己資本	8,114	4,507	3,607
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	10,803	4,057	6,745
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	159	70	88
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	—
(3) リスク・アセット等	106,056	48,554	57,502
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4%	4,242	1,942	2,300

(注) 「自己資本比率」は、2006年金融庁告示第19号及び第20号に基づき算出しております。
また、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては基礎的手法を採用しております。

（5）リスク管理債権及び金融再生法開示債権

① きらぼし銀行【単体】

（単位：百万円、%）

	2024年			2024年 9月末	2023年 12月末
	12月末	2024年 9月末比	2023年 12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	18,491	1,184	△1,078	17,306	19,570
危険債権	73,993	△4,101	△15,238	78,094	89,231
要管理債権	6,789	△960	△632	7,750	7,422
三月以上延滞債権額	302	4	199	297	102
貸出条件緩和債権額	6,486	△965	△832	7,452	7,319
小計 (A)	99,274	△3,877	△16,949	103,151	116,223
正常債権	4,853,583	87,167	33,073	4,766,416	4,820,510
総与信残高 (B)	4,952,857	83,290	16,123	4,869,567	4,936,734
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	2.00	△0.11	△0.34	2.11	2.35

② UI銀行【単体】

（単位：百万円、%）

	2024年			2024年 9月末	2023年 12月末
	12月末	2024年 9月末比	2023年 12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5	1	3	4	2
危険債権	—	—	—	—	—
要管理債権	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—	—
小計 (A)	5	1	3	4	2
正常債権	14,747	12,774	14,625	1,972	121
総与信残高 (B)	14,753	12,775	14,628	1,977	124
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	0.03	△0.18	△1.87	0.22	1.91

（注）きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

部分直接償却を実施した場合

① きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2024年	2024年		2024年	2023年
	12月末	9月末比	12月末比	9月末	12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,123	382	1,909	7,741	6,214
危険債権	73,993	△4,101	△15,238	78,094	89,231
要管理債権	6,789	△960	△632	7,750	7,422
三月以上延滞債権額	302	4	199	297	102
貸出条件緩和債権額	6,486	△965	△832	7,452	7,319
小計 (A)	88,906	△4,680	△13,962	93,586	102,868
正常債権	4,853,583	87,167	33,073	4,766,416	4,820,510
総与信残高 (B)	4,942,490	82,487	19,111	4,860,002	4,923,379
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	1.79	△0.12	△0.29	1.92	2.08

② UI銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2024年	2024年		2024年	2023年
	12月末	9月末比	12月末比	9月末	12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5	1	3	4	2
危険債権	—	—	—	—	—
要管理債権	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—	—
小計 (A)	5	1	3	4	2
正常債権	14,747	12,774	14,625	1,972	121
総与信残高 (B)	14,753	12,775	14,628	1,977	124
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	0.03	△0.18	△1.87	0.22	1.91

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(6) 貸出金・預金残高等の状況

① 貸出金の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2024年			2024年 9月末	2023年 12月末
	12月末	2024年 9月末比	2023年 12月末比		
貸出金(未残)	4,921,457	80,826	22,062	4,840,630	4,899,394
(除く特別国際金融取引勘定)(未残)(A)	(4,921,457)	(80,826)	(22,062)	(4,840,630)	(4,899,394)
中小企業等貸出金 (B)	3,985,353	38,749	△114,078	3,946,604	4,099,432
うち消費者ローン	688,242	△6,551	△9,819	694,793	698,062
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	80.97	△0.55	△2.69	81.53	83.67

(2) U I 銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2024年			2024年 9月末	2023年 12月末
	12月末	2024年 9月末比	2023年 12月末比		
貸出金(未残)	14,746	12,771	14,623	1,975	123
(除く特別国際金融取引勘定)(未残)(A)	(14,746)	(12,771)	(14,623)	(1,975)	(123)
中小企業等貸出金 (B)	14,746	12,771	14,623	1,975	123
うち消費者ローン	10,957	8,982	10,833	1,975	123
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	100.00	—	—	100.00	100.00

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(3) きらぼし銀行及びU I 銀行の合算

(単位：百万円、%)

	2024年			2024年 9月末	2023年 12月末
	12月末	2024年 9月末比	2023年 12月末比		
貸出金(未残)	4,936,204	93,598	36,686	4,842,605	4,899,517
(除く特別国際金融取引勘定)(未残)(A)	(4,936,204)	(93,598)	(36,686)	(4,842,605)	(4,899,517)
中小企業等貸出金 (B)	4,000,100	51,521	△99,455	3,948,579	4,099,555
うち消費者ローン	699,200	2,431	1,014	696,769	698,186
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	81.03	△0.50	△2.63	81.53	83.67

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

② 預金の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2024年 12月末			2024年 9月末	2023年 12月末
		2024年 9月末比	2023年 12月末比		
預金（未残）	5,436,811	△61,535	△26,064	5,498,347	5,462,876
個人預金	2,972,766	12,301	△61,063	2,960,465	3,033,830
法人預金	2,133,513	△11,496	89,628	2,145,009	2,043,884
その他預金	330,531	△62,340	△54,629	392,872	385,161

(2) UI銀行【単体】

(単位：百万円)

	2024年 12月末			2024年 9月末	2023年 12月末
		2024年 9月末比	2023年 12月末比		
預金（未残）	496,088	34,335	76,280	461,752	419,807
個人預金	496,088	34,335	76,280	461,752	419,807

(3) きらぼし銀行及びUI銀行の合算

(単位：百万円)

	2024年 12月末			2024年 9月末	2023年 12月末
		2024年 9月末比	2023年 12月末比		
預金（未残）	5,932,899	△27,200	50,215	5,960,099	5,882,684
個人預金	3,468,854	46,636	15,216	3,422,217	3,453,637
法人預金	2,133,513	△11,496	89,628	2,145,009	2,043,884
その他預金	330,531	△62,340	△54,629	392,872	385,161

③ 預かり資産残高

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2024年 12月末			2024年 9月末	2023年 12月末
		2024年 9月末比	2023年 12月末比		
預かり資産	433,664	4,296	20,075	429,367	413,588
投資信託	154,082	2,999	10,152	151,083	143,930
生命保険	265,342	1,600	15,926	263,742	249,415
公共債	14,239	△302	△6,002	14,541	20,242

(2) きらぼしライフデザイン証券

(単位：百万円)

	2024年 12月末			2024年 9月末	2023年 12月末
		2024年 9月末比	2023年 12月末比		
預かり資産	308,687	14,849	58,285	293,837	250,402
投資信託	283,589	11,737	51,588	271,851	232,000
公共債	231	196	161	35	70
その他	24,866	2,915	6,535	21,951	18,331

(3) きらぼし銀行及びきらぼしライフデザイン証券の合算

(単位：百万円)

	2024年 12月末			2024年 9月末	2023年 12月末
		2024年 9月末比	2023年 12月末比		
預かり資産	742,351	19,146	78,361	723,205	663,990
投資信託	437,671	14,736	61,740	422,935	375,931
生命保険	265,342	1,600	15,926	263,742	249,415
公共債	14,470	△106	△5,841	14,576	20,312
その他	24,866	2,915	6,535	21,951	18,331

④ 信託業務

きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

		2024年 12月期			2024年 9月期	2023年 12月期
			2024年 9月期比	2023年 12月期比		
公共工事代金債権信託	取扱金額	28,983		209	14,589	28,773
	期末残高	25,762	4,779	△3,410	20,983	29,173
不動産管理信託	取扱金額	10,360		3,208	2,415	7,151
	期末残高	106,943	8,622	12,914	98,320	94,028
その他	取扱金額	24		5	18	18
	期末残高	911	△2,040	△262	2,951	1,174
合計	取扱金額	39,368		3,424	17,023	35,944
	期末残高	133,617	11,361	9,241	122,256	124,376

(注) 取扱金額は算定金額が異なるため、2024年9月期比は記載しておりません。

(7) 時価のある有価証券の評価損益

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：百万円)

	2024年12月末				2023年12月末		
	評価損益	2023年 12月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△1,383	△142	—	1,383	△1,240	42	1,283
その他有価証券	△24,371	△14,147	18,204	42,576	△10,224	20,567	30,791
株式	14,424	1,092	14,867	442	13,332	13,599	267
債券	△19,904	△7,548	228	20,133	△12,355	1,075	13,430
その他	△18,891	△7,690	3,108	22,000	△11,200	5,892	17,093

② きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2024年12月末				2023年12月末		
	評価損益	2023年 12月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△1,215	49	—	1,215	△1,265	—	1,265
その他有価証券	△24,172	△14,818	17,760	41,933	△9,354	20,938	30,292
株式	13,950	1,299	14,391	440	12,650	12,955	305
債券	△19,615	△7,599	273	19,889	△12,015	1,256	13,272
その他	△18,507	△8,518	3,095	21,603	△9,988	6,726	16,715



東京きらぼしフィナンシャルグループ
2025年3月期 第3四半期
決算概要

2024年12月期 決算サマリー

東京きらぼしFG(連結)

		(億円)				
		① 23/12 〈実績〉	② 24/12 〈実績〉	前年同期比 (②-①)	③ 25/3 〈業績予想〉	進捗率 (② / ③)
1	経常利益	270	305	+34	321	95.0%
2	親会社株主に帰属する四半期純利益	186	207	+21	245	84.8%

24/12		親会社株主に帰属する 四半期純利益
		前年同期比 +11.4% (186億円 → 207億円)

きらぼし銀行(単体)

		(億円)				
		① 23/12 〈実績〉	② 24/12 〈実績〉	前年同期比 (②-①)	③ 25/3 〈業績予想〉	進捗率 (② / ③)
1	コア業務粗利益	707	660	▲47	876	75.3%
2	資金利益	614	601	▲13	799	—
3	貸出金利息	496	526	+30	676	—
4	有価証券利息	153	131	▲22	181	—
5	その他資金利益	▲35	▲56	▲21	▲58	—
6	非金利収支	92	59	▲33	77	—
7	経費	▲392	▲411	▲19	▲530	—
8	コア業務純益	315	248	▲67	346	71.7%
9	与信関係費用	▲2	▲16	▲13	▲50	—
10	国債等債券損益	▲39	▲31	+8	6	—
11	株式等関係損益	59	98	+38	28	—
12	その他臨時損益	▲20	2	+23	▲26	—
13	経常利益	312	301	▲10	304	99.2%
14	特別損益	▲0	▲1	▲1	24	—
15	法人税等	▲78	▲90	▲11	▲100	—
16	四半期純利益	232	209	▲22	228	92.0%

ポイント解説

		(億円)		
		23/12	24/12	前年同期比
有価証券利息		153	131	▲22
うち 特殊要因(関連会社配当金)		35	—	▲35
【特殊要因除く】有価証券利息		118	131	+12

→23/12期は特殊要因持分法適用関連会社の子会社における不動産売却を原資とした当該関連会社からの配当金35億円を計上

24/12		経常利益
		前年同期比 ▲3.3% (312億円 → 301億円)
24/12		四半期純利益
		前年同期比 ▲9.7% (232億円 → 209億円)

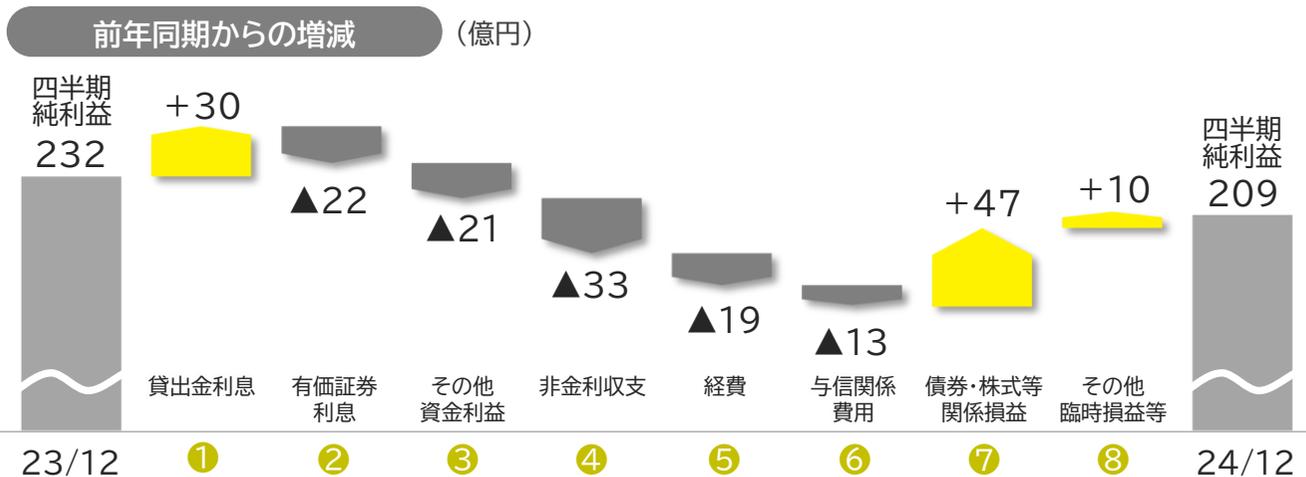
特殊要因を除いた場合		
24/12		経常利益
		前年同期比 +8.9% (276億円 → 301億円)
24/12		四半期純利益
		前年同期比 +6.3% (197億円 → 209億円)

注:前年同期比の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示

四半期純利益の増減要因(きらぼし銀行)

※本頁の各計数の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示

	主要項目	前年同期比	ポイント	《参考》特殊要因除く 前年同期比
①	貸出金利息	+30億円	メイン化取引の推進やお客さまとのリレーション強化の取組み等により、引き続き貸出金は増加、利回りも上昇し、前年同期比+30億円	+30億円
②	有価証券利息配当金	▲22億円	持分法適用関連会社からの配当金の受取(特殊要因※1)が35億円減少した一方、国債アセットスワップや外債変動債の積み増し等により同比▲22億円	+12億円
③	その他資金利益	▲21億円	金利上昇に伴う預金利息の増加(▲23億円)等により同比▲21億円	▲21億円
④	非金利収支	▲33億円	円債・外債のヘッジコスト及び外貨調達コストの増加や、法人役務収益が減少(▲13億円)したこと等により同比▲33億円	▲33億円
⑤	経費	▲19億円	事務委託費等物件費の増加(▲28億円)等により同比▲19億円	▲19億円
⑥	与信関係費用	▲13億円	企業業績回復による大口先のランクアップ等があった一方、貸倒実績率の低下幅縮小による貸倒引当金戻入の減少等により同比▲13億円	▲13億円
⑦	債券・株式等関係損益	+47億円	債券の売却損が増加した一方、REITの売却益や政策保有株式および純投資株式の売却益増加等により同比+47億円(円債超長期債334億円を売却し、実現損益▲55億円を計上)	+47億円
⑧	その他臨時損益 特別損益・法人税等	+10億円	退職給付費用の戻入やファンド費用の減少等により同比+10億円	+10億円
	計	▲22億円	※1:持分法適用関連会社の子会社における不動産売却を原資とした当該関連会社からの配当金(23/12期:35億円→24/12期:計上なし)	計 +12億円



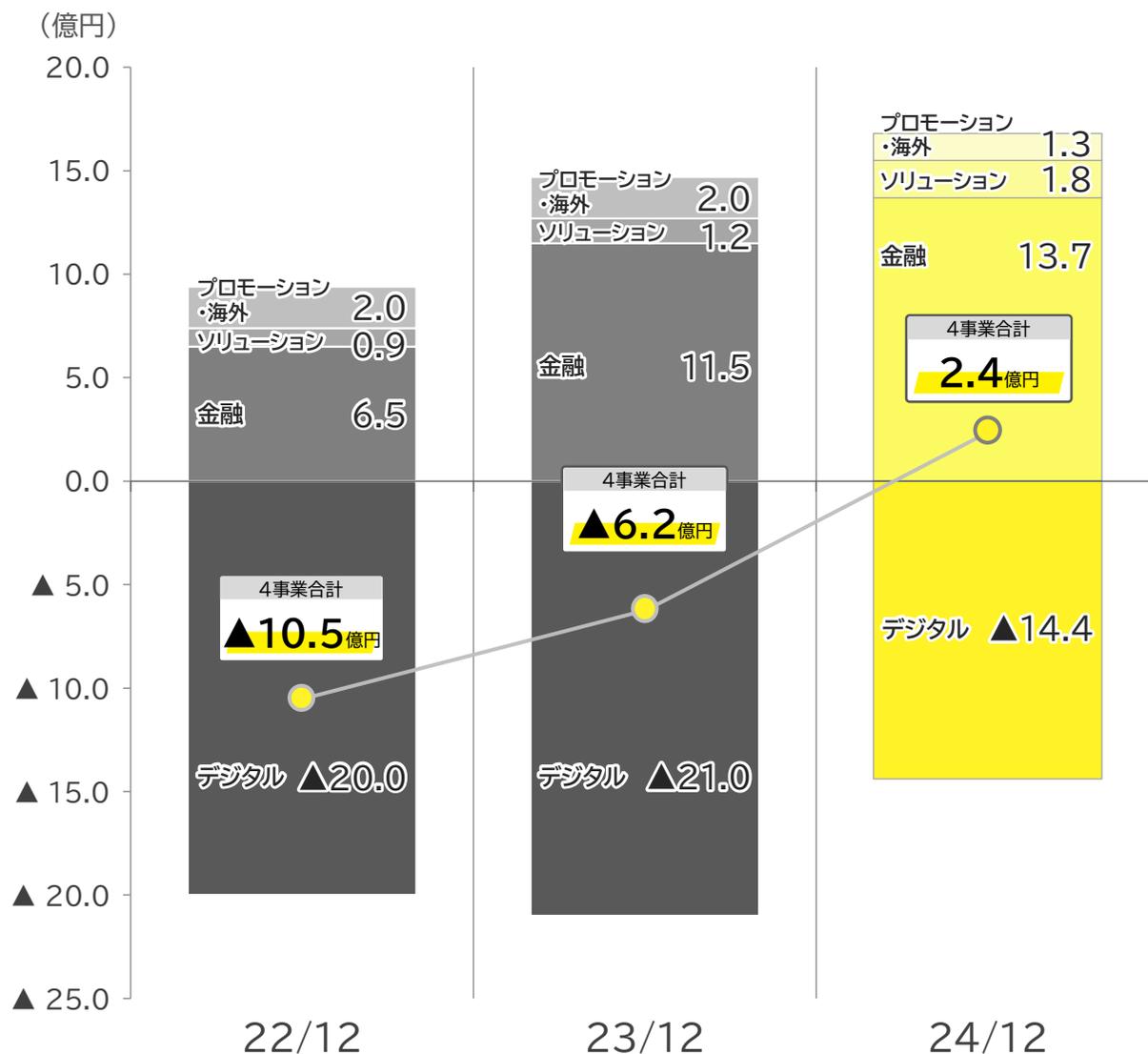
連単差 (億円)

きらぼし銀行【単体】四半期純利益	209
グループ連結利益【うち創業赤字等の影響:▲14】	+2
連結グループ会社間の内部取引消去 等	▲4
東京きらぼしFG【連結】四半期純利益	207

グループ会社利益(きらぼし銀行を除く)

グループ会社利益(きらぼし銀行を除く)は金融事業を中心に増加基調。デジタル事業単独での黒字化が課題

事業別グループ会社利益推移



デジタル事業

UI銀行
きらぼしテック

金融事業

東京きらぼしリース
きらぼしキャピタル
きらぼしライフデザイン証券
きらぼし債権回収
きらぼしインシュアランスエージェンシー
きらぼしJCB
きらぼし信用保証
八千代信用保証

ソリューション事業

きらぼしコンサルティング
きらぼしシステム
アイティーシー
きらぼしビジネスオフィスサービス

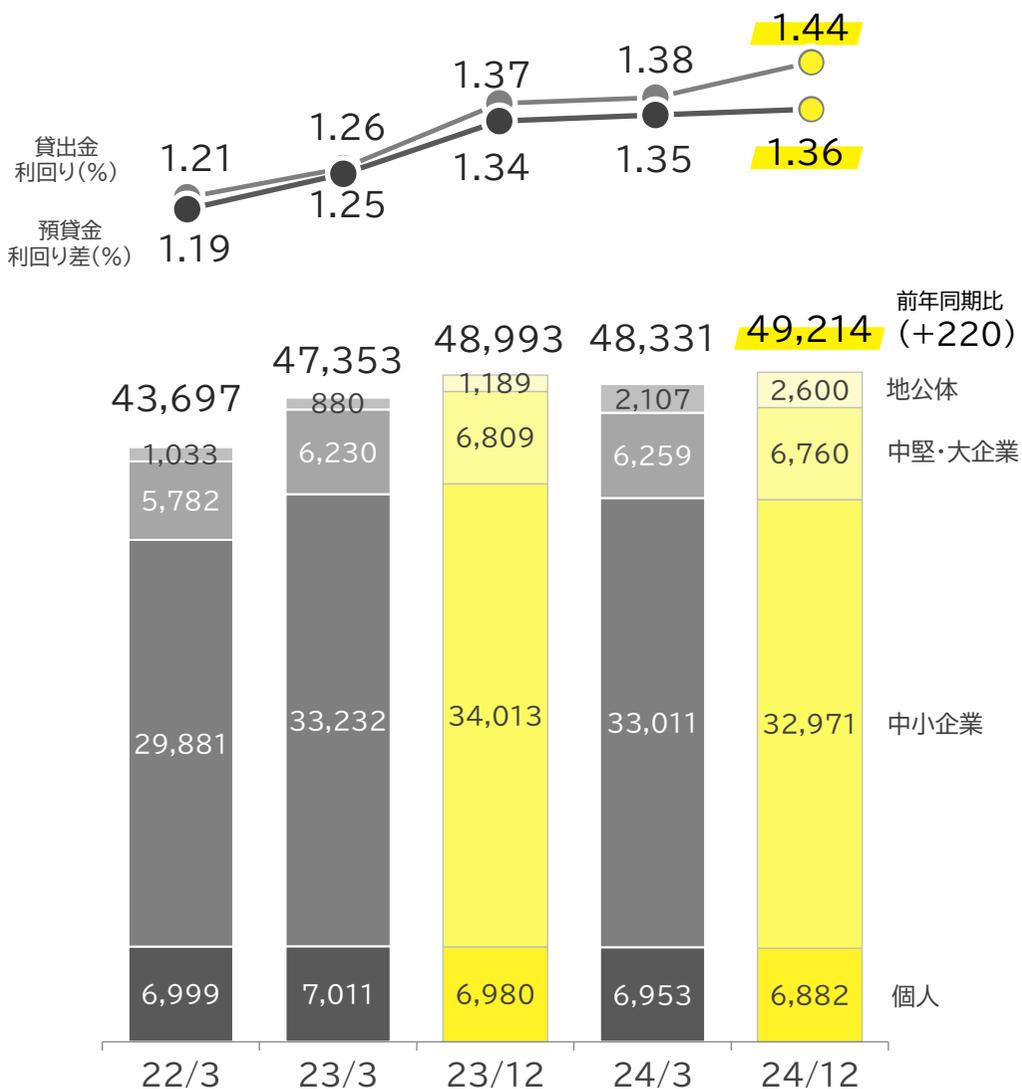
プロモーション・海外事業

ビー・ブレーブ
きらぼしビジネスサービス
綺羅商務諮詢(上海)
信銘冠嘉商務諮詢(北京)
KIRABOSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM

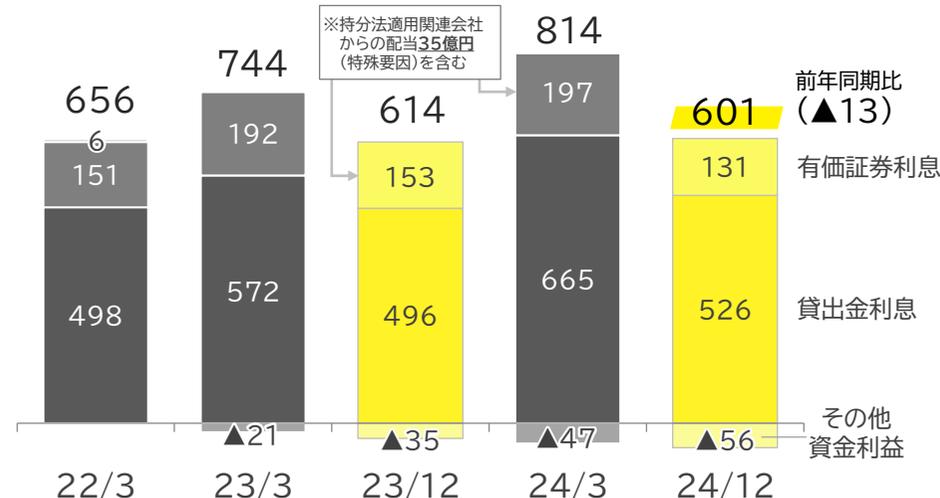
貸出金・信託財産(きらぼし銀行)

メイン化取引の推進等顧客とのリレーション強化の取組みにより、利回りは引き続き上昇
適切なリスク・アセットコントロールの観点から、貸出金残高は前年同期比微増で推移

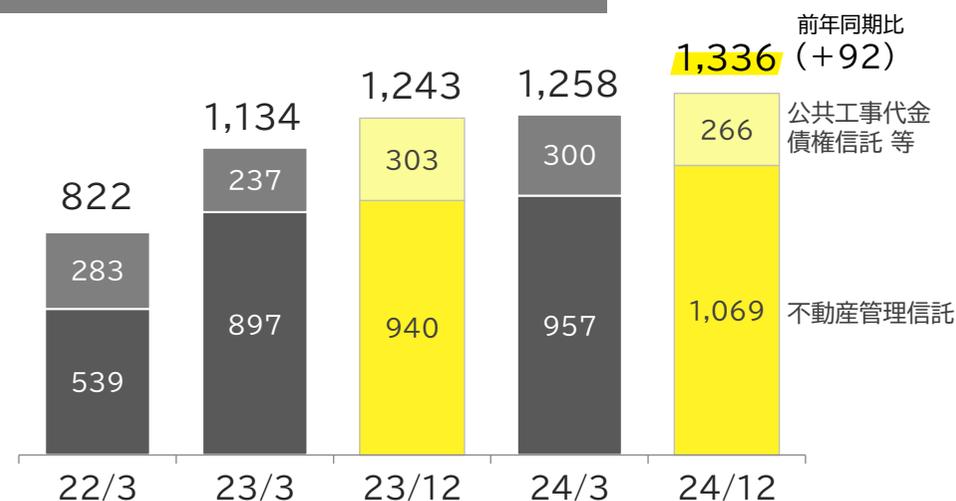
1. 顧客別貸出金残高 (億円)



2. 資金利益 (億円)



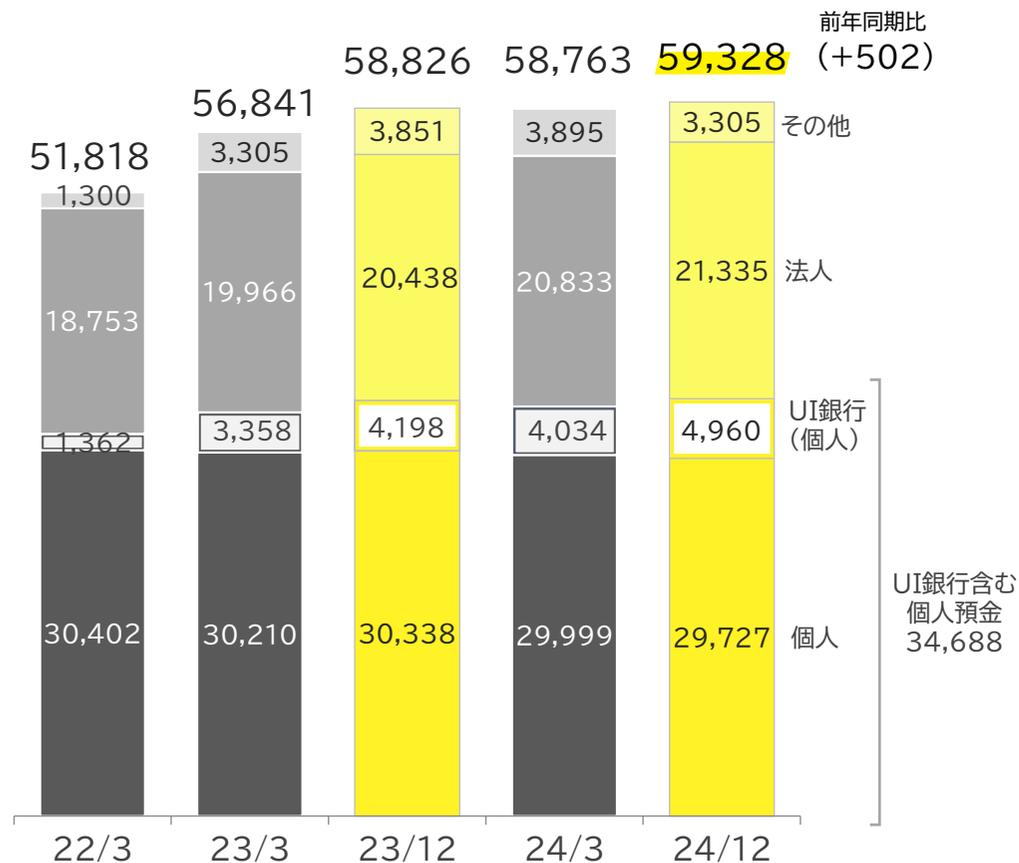
3. 信託財産残高 (億円)



預金・預かり資産残高（きらぼし銀行 + UI銀行 / KLD証券）

きらぼし銀行・UI銀行の合算でグループ全体の預金残高は前年同期比+502億円となり増加基調は継続
 預かり資産残高は、引き続ききらぼしライフデザイン証券の残高を中心に増加傾向

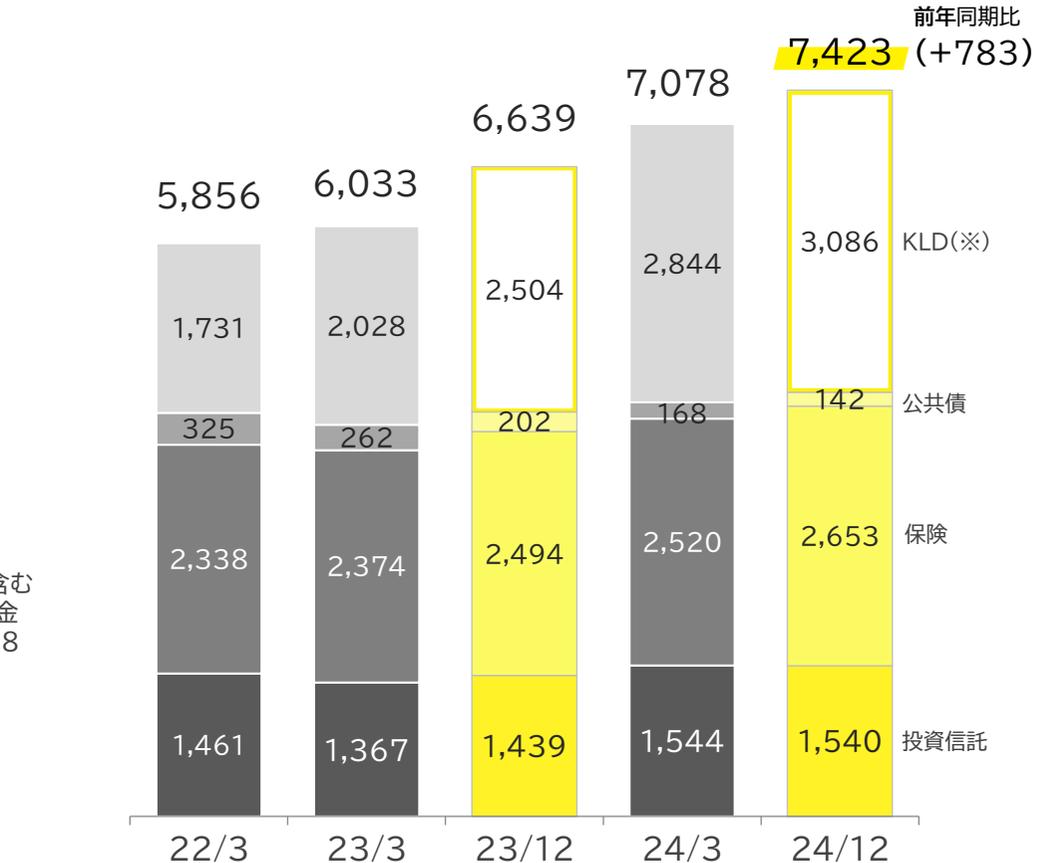
1. 顧客別預金残高（きらぼし銀行+UI銀行）（億円）



きらぼし銀行	50,456	53,482	54,628	54,728	54,368
UI銀行	1,362	3,358	4,198	4,034	4,960

※譲渡性預金を含まない
 ※UI銀行は2022年1月開業

2. 項目別預かり資産残高（きらぼし銀行+KLD）（億円）



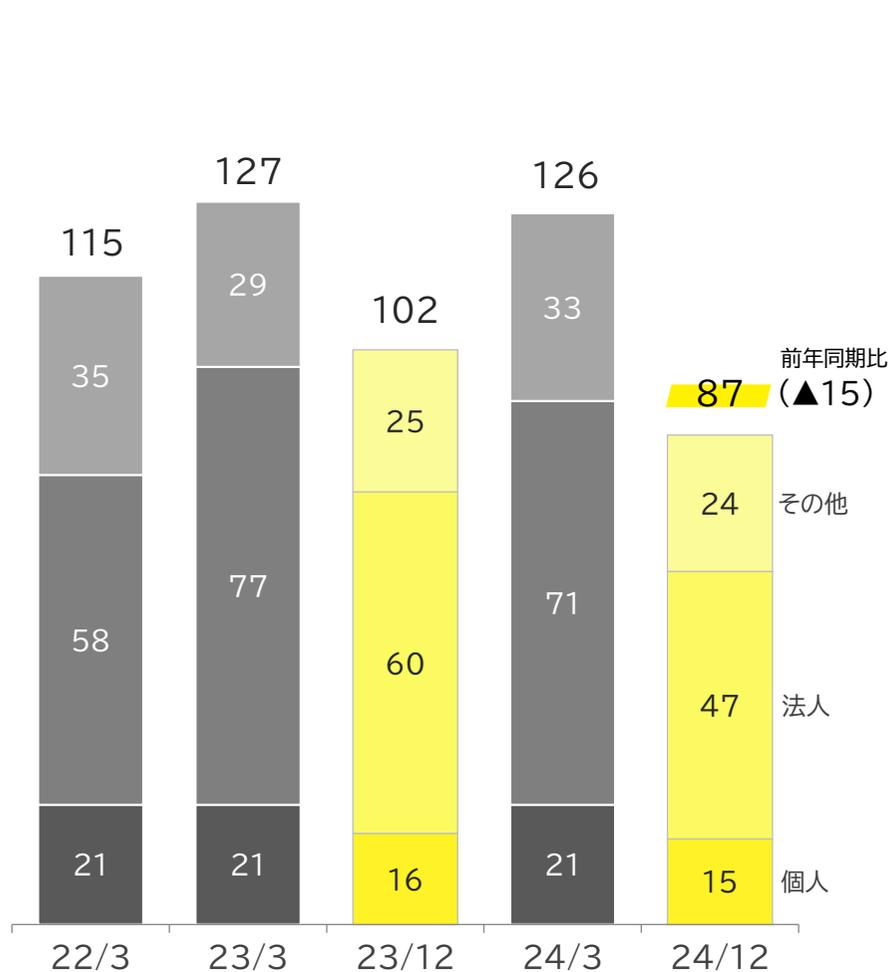
きらぼし銀行	4,124	4,005	4,135	4,233	4,336
KLD	1,731	2,028	2,504	2,844	3,086

※KLD:きらぼしライフデザイン証券

役務取引等利益(きらぼし銀行)

法人役務収益は事業性ファイナンス等により大きく伸長した前年度水準と比較し減収となった一方、個人役務収益は販売手数料に頼らない残高重視の営業体制により、概ね横ばいで推移

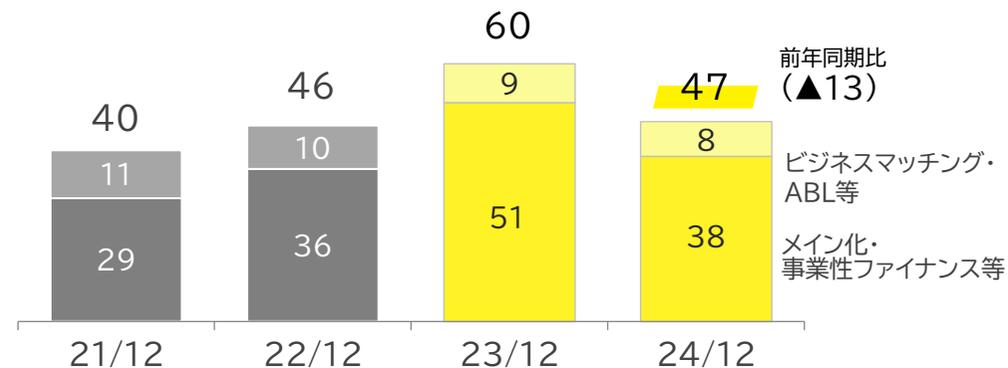
1. 役務取引等利益 (億円)



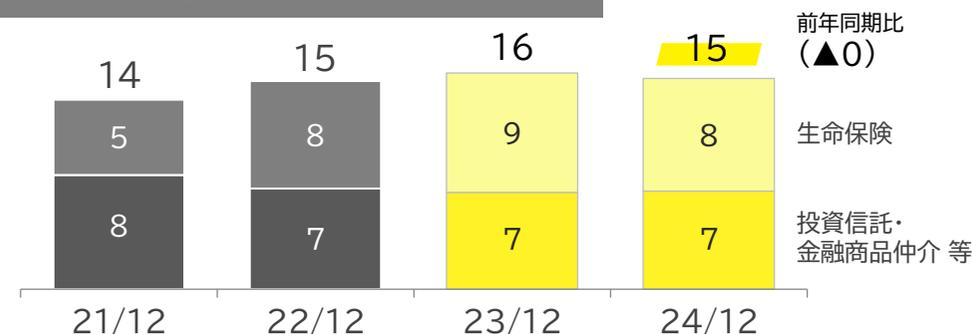
※「その他」に信託報酬を含む

2. 法人役務収益 (億円)

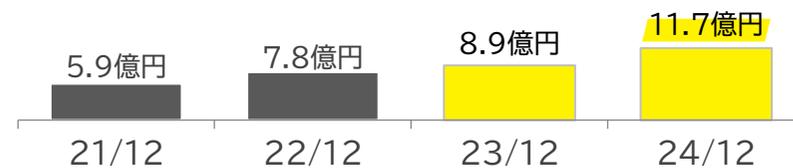
※「2.」「3.」の内訳は内部管理計数による



3. 個人役務収益 (億円)



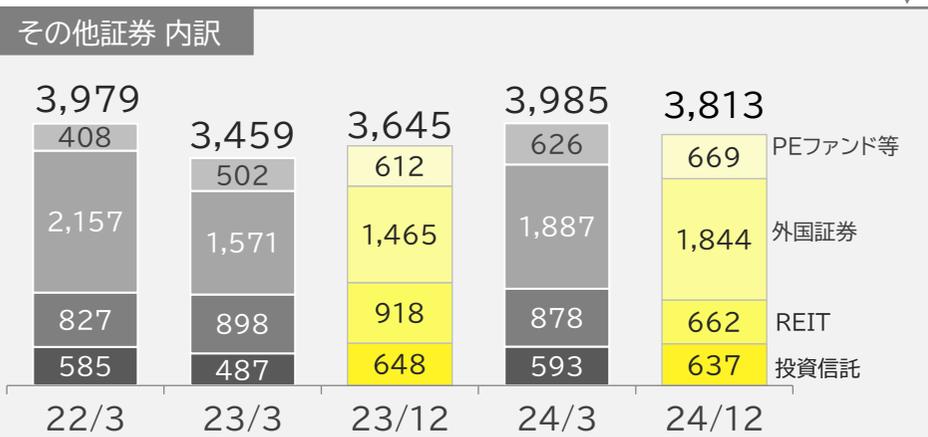
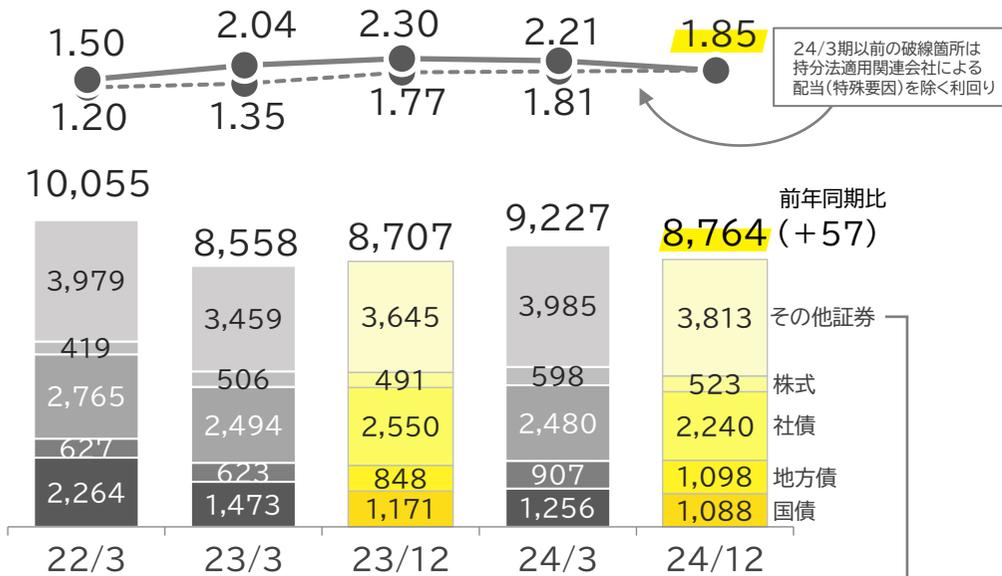
【参考】きらぼしライフデザイン証券手数料収益 (※上記個人役務収益には含まれない)



有価証券(きらぼし銀行)

超長期債の処理を進め変動債等への入れ替えを実施、円債デュレーションの短期化及び金利リスク量を圧縮
また、更なる金利上昇に備え、ヘッジオペレーションによるリスクコントロールを実施

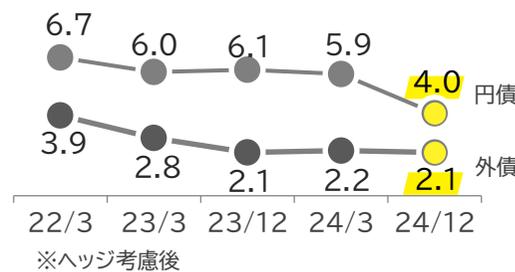
1. 有価証券残高・利回り (億円、%)



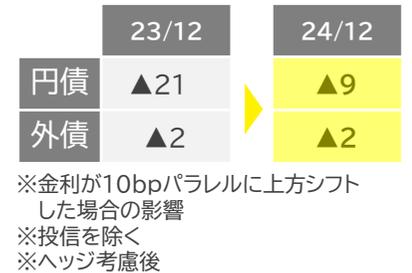
2. 有価証券評価損益 (億円)



3. デュレーション (年)



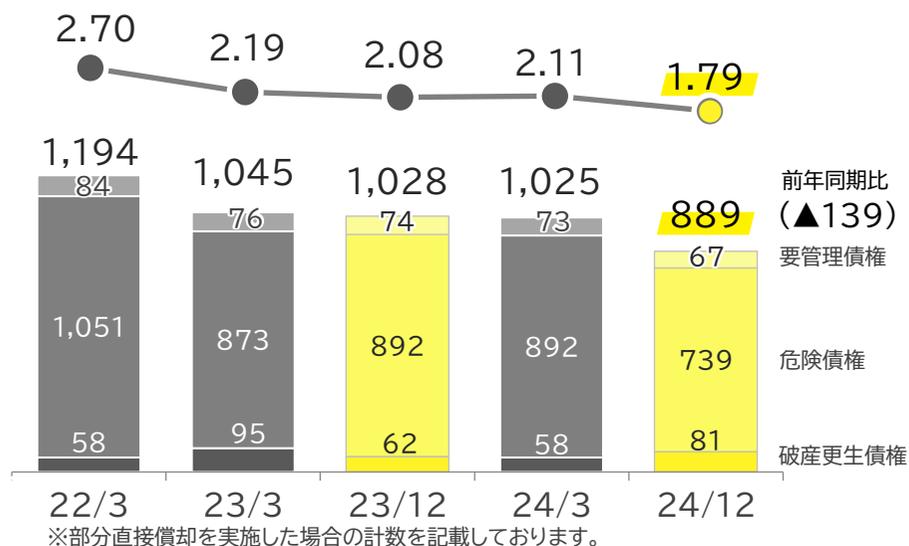
4. 金利感応度 (億円)



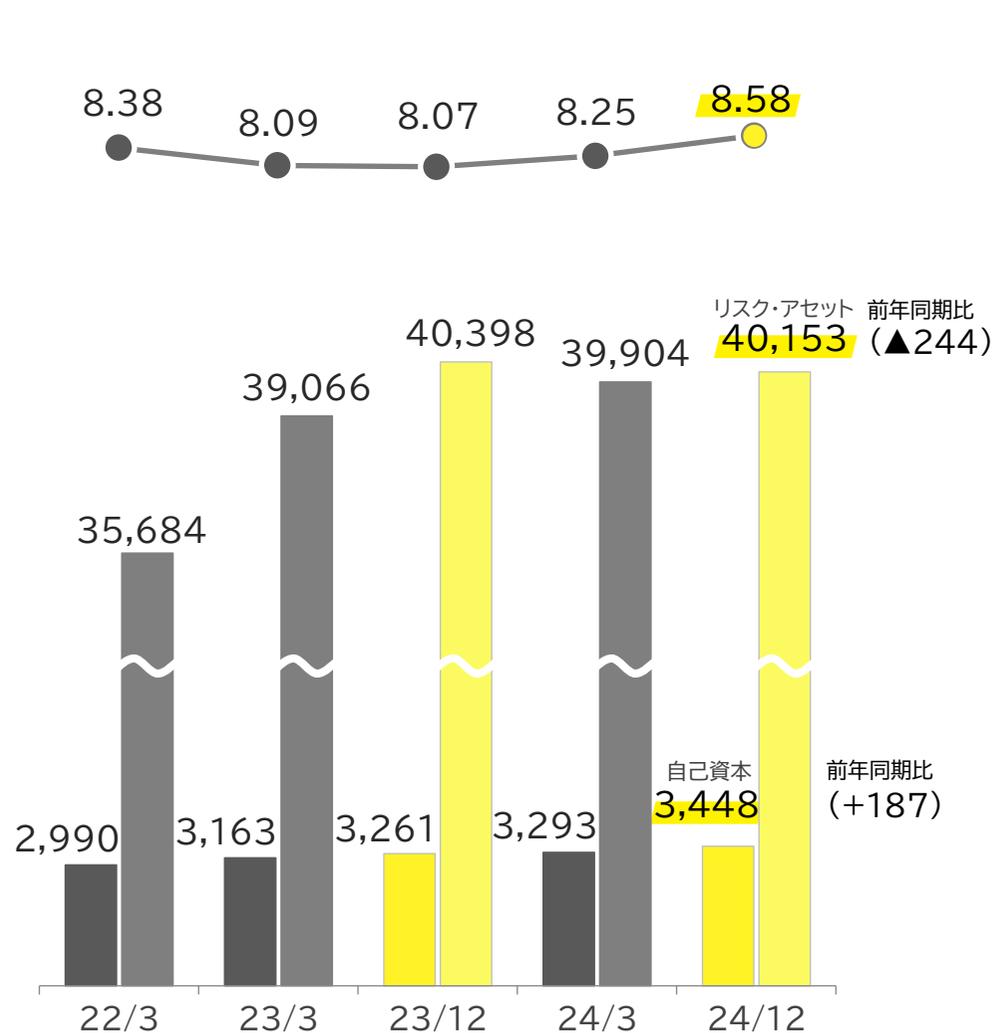
金融再生法開示債権・自己資本比率

開示債権比率は、正常債権の増加や取引先のランクアップ等により前年同期比で減少
 リスク・アセットが増加した一方、利益の積上げにより自己資本は増加、前年同期比で自己資本比率は上昇

1. 開示債権額・比率 (きらぼし銀行) (億円、%)



3. 自己資本比率 (東京きらぼしFG連結) (億円、%)



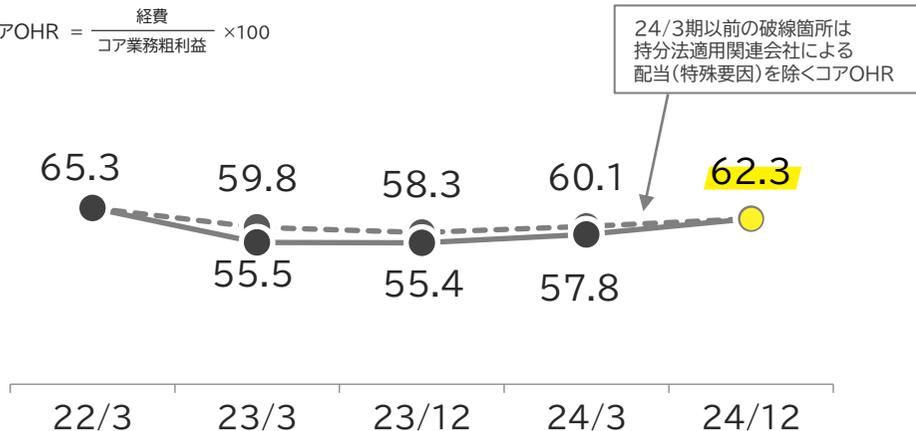
2. 与信関係費用 (億円)

	23/12	24/12	前年同期比
① 一般貸倒引当金繰入額	—	▲9	▲9
② 不良債権処理額	4	25	+20
うち個別貸引繰入額	—	21	+21
③ 貸倒引当金戻入益	1	—	▲1
与信関係費用 (①+②-③)	2	16	+13

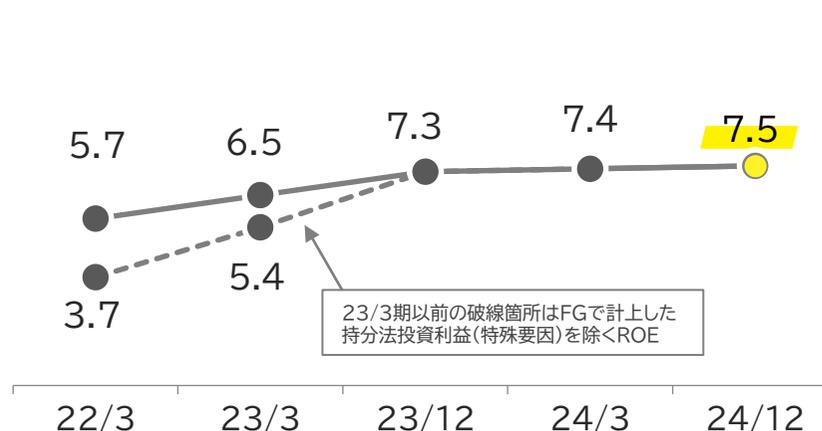
OHRは事務委託費の増加やベースアップ・前向き投資等による経費の増加により前年同期比上昇
 ROEは前中計(21年4月～)からの上昇基調は継続し、前年同期より安定的に7%台を計上

1. コアOHR (きらぼし銀行) (%)

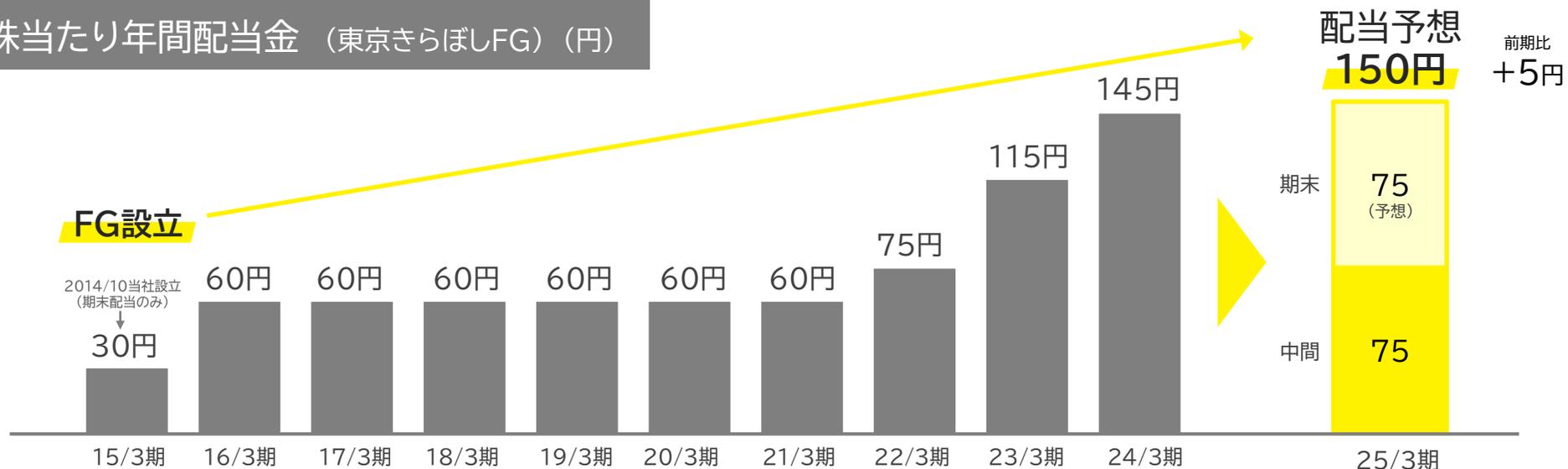
※ コアOHR = $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}} \times 100$



2. ROE (東京きらぼしFG連結) (%)

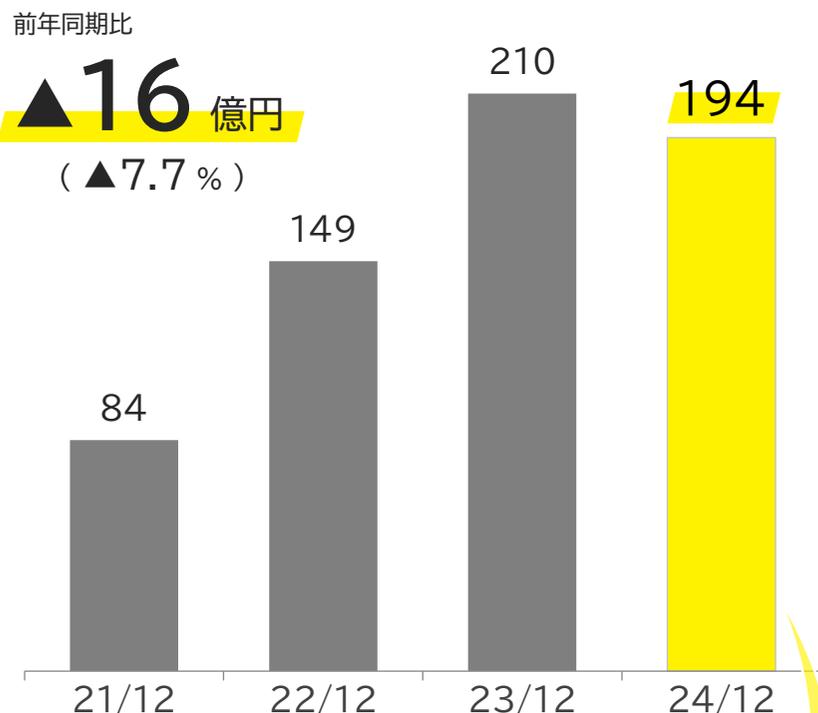


3.1株当たり年間配当金 (東京きらぼしFG) (円)



<参考> 顧客向けサービス業務利益と要因分解(きらぼし銀行)

顧客向けサービス業務利益(※1) (億円)



主な増減要因

役務取引等利益(※2) 前年同期比 ▲15億円

➡ 法人役務収益が減少(同比▲13億円)

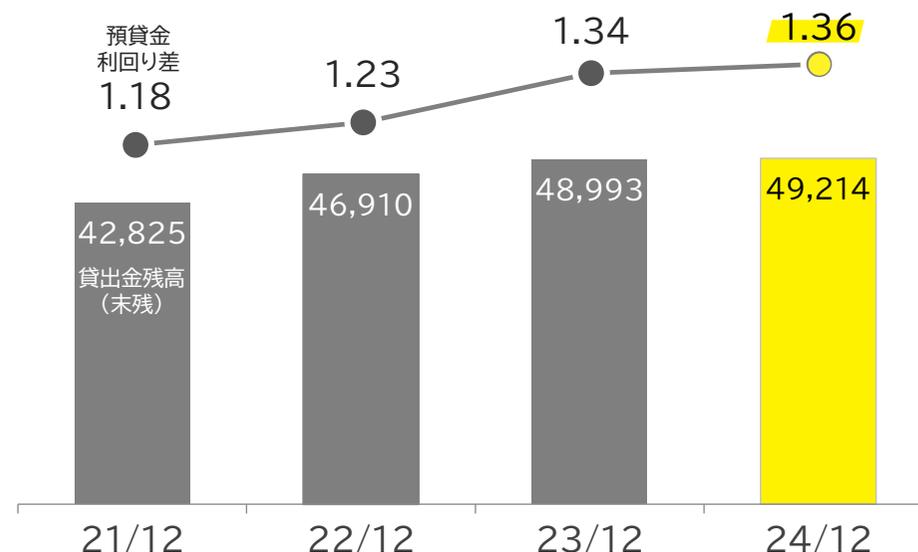
※1 算出方法:(貸出金残高×預貸金利回り差)+役務取引等利益-営業経費

※2 役務取引等利益は、信託報酬を含む

要因分解 (億円・%)

	22/12	23/12	24/12	前年同期比
① 貸出金残高(末残)	46,910	48,993	49,214	+220
② 預貸金利回り差	1.23	1.34	1.36	+0.01
③ 役務取引等利益	85	102	87	▲15
④ 営業経費 (経費+退職給付費用等臨時処理分)	372	389	400	▲10
顧客向けサービス業務利益 (①×②×275/365+③-④)	149	210	194	▲16

貸出金残高・預貸金利回り差 (億円・%)



24年12月より投資用不動産ローン取扱開始、足元では住宅ローンと併せ、月間約80億円のローン実行ペース

2024年12月期 実績

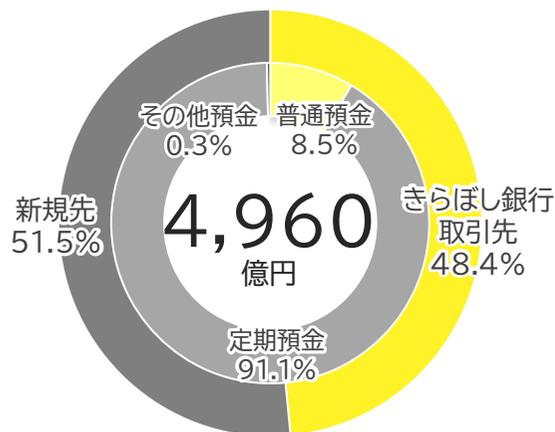
預金残高 **4,960** 億円

預金残高			普通預金/定期預金 内訳	
23/12	24/12	前年同期比	24/12	
4,198 億円	4,960 億円	+18.1 %	うち 普通預金	423億円
			うち 定期預金	4,521億円

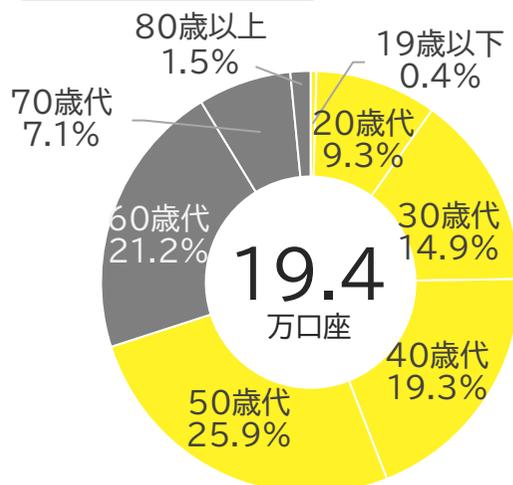
ローン残高 **147** 億円

ローン残高			ローン内訳	
23/12	24/12	前年同期比	24/12	
1.2 億円	147 億円	— %	住 宅	101億円
			投資用不動産	37億円
			無 担 保	7億円

預金残高内訳



年代別口座数分布



地域別口座数分布

